

## &lt;報道発表資料&gt;

カテゴリー:お知らせ

令和8年1月15日

**県のアスリート発掘育成事業である「プラチナキッズ」  
出身者として初のオリンピックとなる金井莉佳選手が  
オリンピック出場を知事・議長に報告します**

埼玉県が平成23年度から開始したアスリート発掘育成事業である「プラチナキッズ」出身者として初のオリンピックとなる<sup>かないりか</sup>金井莉佳選手が、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックへの出場を報告するため知事・議長を訪問します。

● **概要****1 日時及び訪問先**

令和8年1月19日（月）10時15分～10時30分【知事：知事室】

令和8年1月19日（月）10時40分～10時55分【議長：議長応接室】

**2 主な出席者**

|                      |                      |  |
|----------------------|----------------------|--|
| <sup>かない</sup><br>金井 | <sup>りか</sup><br>莉佳  | ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック<br>スケート・ショートトラック日本代表選手 |
| <sup>たぐち</sup><br>田口 | <sup>かつや</sup><br>勝也 | 埼玉県スケート連盟会長                                  |
| <sup>くぼ</sup><br>久保  | <sup>まさみ</sup><br>正美 | （公財）埼玉県スポーツ協会専務理事                            |

● **プラチナキッズについて**

県では「スポーツ科学を活用したトップアスリート輩出事業」として、次世代を担うトップアスリートの輩出を目指し、スポーツ科学に基づいた選手の発掘・育成から強化支援までの一貫したサポートを実施しています。

小学生年代を対象とする「プラチナキッズ」では、県内の優れた運動能力を有する小学

4年生を体力テストや運動能力テストによって発掘（選考）し、発達が著しい「ゴールデンエイジ」に該当する小学5年生から6年生の2年間で育成を行います。

スポーツ科学を活用した育成プログラム（アスリート教育・障害予防・栄養講習・体力測定など）や様々な競技体験活動を通じて競技選択の幅を広げる「競技体験プログラム」（25競技程度）を実施することで、「汎用性の高い運動能力」を高めるとともに「適性競技の発見」につなげています。金井選手は「競技体験プログラム」をきっかけにスケート・ショートトラック競技と出会い、競技を始めました。